

withコロナ時代の 若者インサイト

— コロナは若者にどう影響を与えたか —

電通若者研究部レポート



Wakamon

電通若者研究部

今回、電通若者研究部では
高校生、大学生、社会人1年目のZ世代を中心に、
社会人10年目、社会人20年目を対象とした調査を実施しました。
コロナは若者にどのような影響を及ぼしたのかのあぶり出し、
いまだ続くコロナの影響を受け、
withコロナ時代の若者意識はどのように変化するのか
その兆しを捉えることを目的としています。

調査方法: インターネット調査

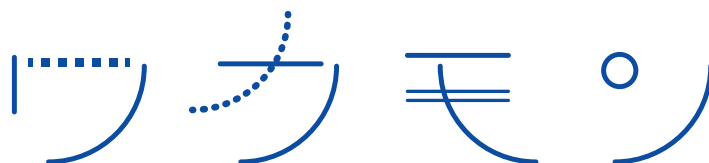
調査期間: 2020年6月5日(金)~7日(日)

調査地域: 全国

対象者条件: 15~45歳男女

回収サンプル数: 1,000ss

「若者=最初に新しくなる人」から学び、
若者から未来をデザインする



Wakamon

電通若者研究部

withコロナ時代の 若者インサイト



「正解」や「確実な安心」が
崩壊した世の中において、
自分の将来や現状に不安を抱えているものの、

“前を向いて進むしかない”

=前向きなしょうがないマインド

今回の調査から見えた若者の姿は、
これまでの当たり前が崩壊し、想像もしていなかった状況に直面し、
不安を抱えながらも前を向き、立ち止まることなく、自ら進んでいこうとする姿でした。
コロナと折り合いながら、無理せず自らの力で時代を切り拓いていく…
そんな姿勢が見られます。

調査から見てきた5つのトピックから、
withコロナ時代の
新しい価値観のヒントをご紹介します。

withコロナ時代の
新しい価値観のヒント

5 TOPICS

TOPICS

1

自粛期間中の
充実度に見る
身のこなし方

TOPICS

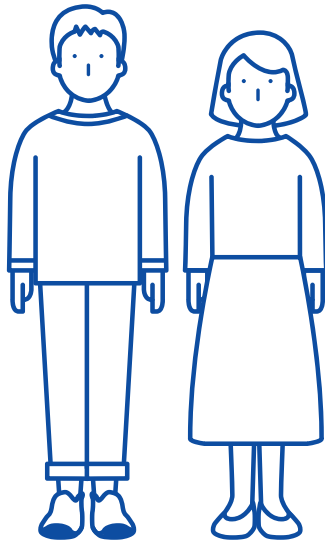
2

希少性が高まり、
価値向上した
“リアル”

TOPICS

3

コロナで
顕在化した
「青春時間」の価値



TOPICS

4

“何を言う”かで本質露呈、
これからは
“スタンス”が大事に

TOPICS

5

自分にとって
本当に必要なものを
精査する時代へ

自粛期間中の充実度に見る 身のこなし方

高校生は**69.7%**が緊急事態宣言発令中の生活は『充実していた』と回答。

これまでやっていなかったことを始める/新しいことに挑戦することで、
“自己成長”を感じられた人が充実感を得る傾向に。

自粛期間さえも、前向きに活用することが 出来る人ほど“充実度が高い”

更にはコロナ期間に価値観が変わり、自由を感じるなど新しい感覚を獲得するなどの
回答もみられ、家族や友人の大切さに気づく期間だった若年層も多い。



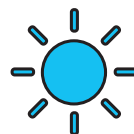
外出自粛中にトライしたことで、
自分の成長を感じられた

高校生

29.0%

社会人20年目

13.0%



逆に、
これまで以上に
自由を得た感じがした

62.0%

(高校生)



これまでとらわれていたり、
こうしなければと思っていた
価値観がガラッと変わった

50.0%

(新社会人1年目)



家族や友人など、
身近な人への感謝や
思いやりが持てるようになった

71.0%

(新社会人1年目)

希少性が高まり、 価値向上した“リアル”

若年層ほど、リアルに対する渴望が強く顕在化。

自粛期間中にリアルで人と会えなかったことで
特に若年女子は孤独感を募らせていた。

リモートやオンラインが流行しても、 揺るがないリアルの価値

リモートやオンラインで代替することが増える中で、若年層を中心としたリアルな場への欲求は衰えることなく、コロナ禍の外出自粛によって、さらに強固に。



一刻も早くリアルで
友達と会いたいと思う

79.3%

(大学生)

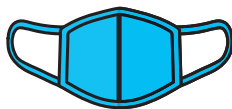


不安な中で、友人とも会えず、
孤独・寂しさが募った

70.0% **68.0%**

(女子高校生)

(女子大学生)



友だちと会ってしゃべるなら、
マスクなしのオンラインより、
マスク着用でリアルの方がいい

79.0%

(高校生)



リアルとオンラインを比較した際、
オンラインでのコミュニケーションの
方が不自由さを感じる

70.8%

(大学生)

コロナで顕在化した 「青春時間」の価値

今回の自粛期間を『失った時間』と強く感じている高校生、大学生。特に女子たちに顕著。
本来であれば、“もっと多くの出会いや様々なチャンスを得ていた”と
感じている傾向もあり、

学生の時だから出来ることがある、
という『青春時間』の価値の高さが鮮明に。

コロナの影響を受け、自分のやりたいことや夢を失うのではないかという不安も
学生ほど強く感じており、社会人以降とは異なる反応が顕在化。



失った時間を
取り戻したい

69.3% **64.0%**

(女子高校生)

(女子大学生)



本来できたはずの新生活、
新しい出会いなど楽しいことが
すべて奪われてしまったと感じる

76.7% **73.0%**

(女子高校生)

(女子大学生)



ついダラダラと過ごしてしまい、
1日を無駄に過ごしたと
感じるが多かった

82.7%

(高校生)



コロナの影響で、
自分のやりたいことや
夢が奪われそうで不安だ

48.0% **50.8%**

(高校生)

(大学生)

“何を言う”かで本質露呈、
これからは“スタンス”が大事に

大人への信頼度が著しく低下する中、ただ嘆くのではなく、
自分たち自身で正解を選び取る/作る感覚を有しており、

“大人だから偉い”ではなく、相手が誰であれ、
.....
どのような考えや行動をするのか
.....
“スタンス”が重視される時代に。
.....

ついて行きたいと思えるリーダーはいたら良いが、誰も正解がわからないなら、
誰かに頼るよりも自分たちで正解を作っていけば良いという感覚も。
メディアとしては、まさに『個の発信(スタンスの表明)』がなされるラジオの信頼度が高い結果に。



大人は言っていることが
バラバラで誰の意見を
信頼していいかわからない

80.3%

(高校生)



何が正解かは
自分で選び取っていかないと
いけないと思う

89.0%

(高校生)



みんな正解がわからないの
だから、自分たちで正解を
作っていけばよいと思う

82.7%

(高校生)



どのような言動をするかによって、
その人の本質が露呈される
ようになったと感じる

81.0%

(社会人1年目)



ラジオをメディアとして
「信頼できる」と回答

67.7%

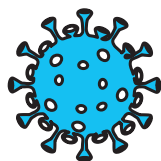
(高校生)

自分にとって本当に必要なものを 精査する時代へ

コロナ前の生活に戻ることはもうない、という感覚を持ち、
コロナと折り合う意識が高い若年層。今回の変化を契機に

自分にとって
本当に必要なものを考え、選択していく
『本質回帰』が加速。

意味のない慣習や理不尽な物事は見直される時代へ。



もうコロナとうまく折り合って
生活していくしかないと思う

89.7%

(高校生)



自分にとって
本当に価値のあるものを見極める
いい機会になった

70.0%

(高校生)



これからは、本当に自分にとって
価値のあるモノ・コト・ヒトだけを
見極めて過ごしたい

76.1%

(全体値)



今まで会った友だちの中で、
リアルでも会う人と
オンラインで済ます人に分けたい

34.1%

(大学生)